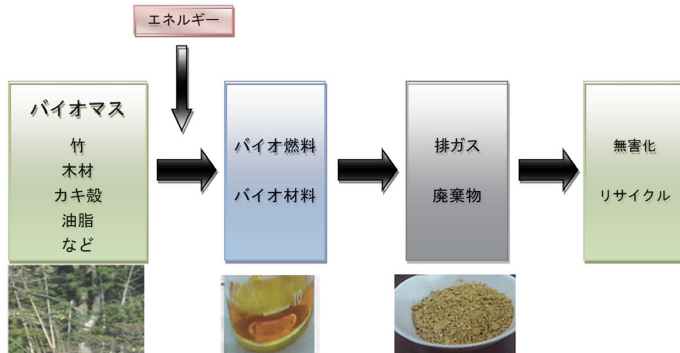


研究概要

環境にやさしいバイオマス資源利用技術の開発

石油資源枯渇の懸念にともない、バイオマス利用が求められている。しかし、バイオマス利用技術は未発達であり、資源化や使用において新たな環境負荷や環境問題を生じさせる可能性がある。

本研究では、バイオマス利用において生じる可能性のある環境負荷や公害問題への対策技術を開発する。資源化プロセスの効率化による使用エネルギーの低減、燃焼排ガス中化学物質の分析と無害化、資源化プロセスから生じる廃棄物の再利用技術などを開発する。



今後の展開やメッセージ

利用可能とされるバイオマスは、種類・地域ごとに異なります。これら種類・地域ごとの特性を活かし、様々なバイオマス資源について、燃料化・材料化のための化学プロセスの開発と製品の品質保証に取り組むことを考えています。

研究者情報



土佐 光司 教授・博士(工学)

バイオ・化学部 応用化学科
東京大学工学部都市工学科卒。東京大学大学院工学系研究科修士課程(都市工学)修了。麻布大学環境保健学部助手を経て、同講師。1999年本学講師就任。助教授を経て、2011年現職。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RJJABB.html>

Keyword

環境／水処理／バイオエネルギー／バイオマス／食品